

## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 神栄株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 3004 URL <http://www.shinyei.co.jp/>  
 代表者 代表取締役社長 新 尚一  
 問合せ先責任者 経営企画部長 山内 浩 TEL (078)392-6911

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

## (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	39,500	(2.5)	781	(28.3)	560	(19.1)	307	(20.6)
19年3月期第3四半期	38,518	(5.6)	608	(44.9)	470	(51.5)	255	(52.8)
19年3月期	51,352	(5.3)	861	(36.4)	666	(41.2)	363	(33.8)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	7	82		
19年3月期第3四半期	6	45		
19年3月期	9	19		

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年3月期第3四半期	28,126		5,027		17.9	133	38
19年3月期第3四半期	28,343		5,630		19.9	142	25
19年3月期	28,556		5,736		20.1	144	94

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	97	394	75	1,556
19年3月期第3四半期	1,025	119	424	1,969
19年3月期	604	176	142	1,783

2.平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	54,000	(5.2)	1,100	(27.7)	1,000	(50.1)	600	(64.9)	15	16

(注)平成19年11月15日発表の通期の業績予想に変更はありません。

3.その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって変動する可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期中の世界経済については、中国の堅調な建設投資と輸出を主因とする高成長が持続しましたが、米国の住宅投資の大幅な減少および個人消費と設備投資の伸び悩み、また、欧州経済における企業の景況感や消費者マインドの悪化が見られ、欧米ともに景気の減速傾向にありました。また、米国のサブプライムローンの破綻の表面化により、世界の金融市場が混乱し、世界経済の動向が不透明な状況になりました。

一方、わが国経済は、輸出が牽引役となって緩やかな景気拡大が続いたものの、建築基準法改正によって住宅着工戸数は減少し、個人消費や賃金は伸び悩んで、今後もサブプライムローンの深刻化、円高および原油高による景気への悪影響が懸念されるところであります。

このような経済環境を背景に、当社グループは、採算性を重視し、事業規模の拡大と事業構造の改革に向けた取り組みを進めてまいりました結果、売上高は前年同期比2.5%増の39,500百万円となり、利益面では、原料加工費の高騰・人民元高と上半期の円安による仕入れコスト上昇の影響があったものの、販売手数料(販売費)やシステム関連費用(一般管理費)の減少などによって、営業利益は前年同期比28.3%増の781百万円、経常利益は前年同期比19.1%増の560百万円、四半期純利益は前年同期比20.6%増の307百万円となりました。

なお、事業区分別の概況は以下のとおりであります。

#### 繊維関連事業

アパレル分野、レッグウエア分野、およびニット・レース分野において堅調で、売上高が増加し、営業利益については、経費削減によって増加しました。

その結果、全体として、売上高は12,563百万円(前年同期比102.1%)、営業利益は367百万円(前年同期比127.8%)となりました。

#### 食品関連事業

冷凍食品関係では、中国産品買い控え傾向が一部見られたことなどから売上高が減少しましたが、仕入関連費用削減により営業利益は増加し、水産品関係では、販路拡大によって売上高が増加しましたが、原料価格高騰により営業利益は減少となりました。

一方、農産分野では、大粒落花生が中国からの輸出停止状態であるため、売上高、営業利益ともにわずかながら減少しました。

その結果、全体として、売上高は15,904百万円(前年同期比101.3%)、営業利益は1,173百万円(前年同期比100.5%)となりました。

#### 住・物資関連事業

ガラス分野では、建築基準法改正の影響などによって売上高が減少しましたが、拠点統合による効率化で営業利益はわずかながら増加し、産業資材分野では建設機械の中国向けの輸出が好調で、売上高、営業利益ともに増加となりました。

一方、建築金物分野では、問屋関係の動きが鈍かったため売上高が減少しましたが、経費削減によって営業利益は増加しました。

その結果、全体として、売上高は6,402百万円(前年同期比112.7%)、営業利益は60百万円(前年同期比293.8%)となりました。

#### 電子関連事業

電子機器の製造受託分野では、受託品の転換などによって売上高が減少しましたが、営業利益は増加となりました。

一方、コンデンサ分野では、照明関係以外が低調であり、また、センサ関連機器分野も低調で、二つの分野において、売上高、営業利益ともに減少しました。

その結果、全体として、売上高は4,629百万円(前年同期比96.0%)、営業利益は158百万円(前年同期比61.5%)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産は28,126百万円であり、前連結会計年度末に比べて429百万円の減少となりました。その主なものは、現金及び預金226百万円の減少、受取手形及び売掛金351百万円の増加および時価の低下に伴う投資有価証券489百万円の減少であります。

一方、負債は23,099百万円であり、前連結会計年度末に比べて279百万円の増加となりました。その主なものは、流動負債と固定負債の社債670百万円の減少、長期と短期を合わせた借入金1,564百万円の増加および固定負債の繰延税金負債234百万円の減少であります。

また、純資産は5,027百万円であり、前連結会計年度末に比べて709百万円の減少となりました。その主なものは、自己株式の取得に伴う392百万円の減少およびその他有価証券評価差額金344百万円の減少であります。

### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期中の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加355百万円、たな卸資産の増加165百万円、仕入債務の減少186百万円および法人税等の支払162百万円などの減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益545百万円および減価償却費443百万円などにより、97百万円の増加(前年同期は1,025百万円の増加)となりました。

一方、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出375百万円などにより、394百万円の減少(前年同期は119百万円の減少)となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出670百万円、自己株式の取得による支出392百万円および配当金の支払277百万円などに対して、短期と長期を合わせた借入金の増加1,564百万円により、75百万円の増加(前年同期は424百万円の減少)となりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、226百万円減少(前年同期は486百万円の増加)して1,556百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の業績は概ね計画どおりであり、平成19年11月15日発表の通期の業績予想に変更はありません。

しかしながら、最近の中国産冷凍食品問題が当社の業績に著しく影響を及ぼす事が判明した場合は、改めて公表致します。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
実地たな卸の省略等、一部簡便な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更  
該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第3四半期末	(参考)前期末 (平成19年3月期末)	前期末比較増減	
	金 額	金 額	金 額	金 額	増減率
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
1 現金及び預金	1,969	1,556	1,783	226	12.7
2 受取手形及び売掛金	7,890	8,206	7,855	351	4.5
3 たな卸資産	7,305	7,745	7,627	118	1.6
4 繰延税金資産	186	175	233	57	24.6
5 その他の流動資産	1,146	1,089	1,036	53	5.1
6 貸倒引当金	45	30	39	9	23.3
流動資産合計	18,452	18,744	18,497	247	1.3
<b>固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1) 建物	2,912	2,988	2,873	114	4.0
(2) その他の有形固定資産	1,415	1,372	1,561	188	12.1
有形固定資産合計	4,327	4,360	4,434	73	1.7
2 無形固定資産					
(1) ソフトウェア他	735	734	834	100	12.0
無形固定資産合計	735	734	834	100	12.0
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	4,426	3,917	4,407	489	11.1
(2) 繰延税金資産	146	103	140	36	26.2
(3) その他の投資	913	930	898	32	3.6
(4) 貸倒引当金	664	668	661	6	1.1
投資その他の資産合計	4,821	4,283	4,784	501	10.5
固定資産合計	9,884	9,378	10,053	675	6.7
<b>繰延資産</b>	6	3	5	2	34.5
<b>資産合計</b>	28,343	28,126	28,556	429	1.5

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期末 〔平成19年3月期 第3四半期末〕	当四半期末 〔平成20年3月期 第3四半期末〕	(参考)前期末 (平成19年3月期末)	前期末比較増減	
	金額	金額	金額	金額	増減率
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
1 支払手形及び買掛金	5,087	4,404	4,594	189	4.1
2 短期借入金	6,211	7,547	7,128	418	5.9
3 一年以内に償還予定の 社債	800	230	800	570	71.3
4 未払法人税等	18	80	103	23	22.2
5 繰延税金負債	3		3	3	100.0
6 賞与引当金	135	155	227	72	31.7
7 その他の流動負債	2,330	2,441	2,364	76	3.2
流動負債合計	14,586	14,858	15,222	363	2.4
<b>固定負債</b>					
1 社債	630	400	500	100	20.0
2 長期借入金	5,262	5,953	4,807	1,146	23.8
3 未払役員退職慰労金	138	128	138	9	7.2
4 繰延税金負債	262	45	279	234	83.7
5 退職給付引当金	1,108	976	1,063	87	8.2
6 役員退職慰労引当金	55	20	21	0	0.8
7 負ののれん	2	0	2	1	75.0
8 その他の固定負債	665	715	785	69	8.9
固定負債合計	8,126	8,240	7,597	643	8.5
負債合計	22,713	23,099	22,820	279	1.2
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
1 資本金	1,980	1,980	1,980		
2 資本剰余金	1,049	1,049	1,049	0	0.0
3 利益剰余金	1,622	1,762	1,731	30	1.8
4 自己株式	4	397	5	392	
株主資本合計	4,647	4,393	4,755	361	7.6
<b>評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券評価 差額金	1,057	701	1,046	344	32.9
2 繰延ヘッジ損益	36	22	22	0	1.4
3 為替換算調整勘定	111	91	88	2	3.1
評価・換算差額等合計	983	633	980	347	35.4
純資産合計	5,630	5,027	5,736	709	12.4
負債純資産合計	28,343	28,126	28,556	429	1.5

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年3月期 第3四半期	当四半期 平成20年3月期 第3四半期	前年同 期 比 較 増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>売上高</b>	38,518	39,500	982	2.5	51,352
<b>売上原価</b>	31,881	32,898	1,016	3.2	42,541
売上総利益	6,637	6,602	34	0.5	8,811
<b>販売費及び一般管理費</b>	6,028	5,821	207	3.4	7,949
営業利益	608	781	172	28.3	861
<b>営業外収益</b>	133	96	36	27.5	170
1 受取利息	5	8	2	54.8	10
2 受取配当金	49	51	1	3.5	50
3 その他の収益	78	37	41	52.8	110
<b>営業外費用</b>	271	317	45	16.9	365
1 支払利息	169	194	25	14.8	225
2 手形売却損	28	37	9	31.9	41
3 その他の費用	74	85	11	16.1	98
経常利益	470	560	89	19.1	666
<b>特別利益</b>	35		35	100.0	98
1 固定資産売却益	35		35	100.0	36
2 受取開発負担金					40
3 役員退職慰労引当金 戻入益					22
<b>特別損失</b>	74	14	59	79.8	129
1 固定資産廃棄損	25	14	10	40.8	26
2 土地活用関連費用	48		48	100.0	48
3 事業再編関連費用					45
4 その他の特別損失					8
税金等調整前四半期(当期) 純利益	432	545	112	26.1	636
法人税、住民税及び事業税	43	141	98	227.3	149
法人税等調整額	134	96	38	28.4	122
四半期(当期)純利益	255	307	52	20.6	363

(3) (要約)四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期(平成19年3月期第3四半期)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	1,980	1,049	1,565	4	4,590
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当			197		197
四半期純利益			255		255
自己株式の取得				0	0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額(純額)					
第3四半期中の変動額合計(百万円)		0	57	0	56
平成18年12月31日残高(百万円)	1,980	1,049	1,622	4	4,647

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(百万円)	1,484		123	1,360	5,951
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当					197
四半期純利益					255
自己株式の取得					0
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額(純額)	426	36	11	377	377
第3四半期中の変動額合計(百万円)	426	36	11	377	320
平成18年12月31日残高(百万円)	1,057	36	111	983	5,630

当四半期(平成20年3月期第3四半期)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(百万円)	1,980	1,049	1,731	5	4,755
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当			277		277
四半期純利益			307		307
自己株式の取得				392	392
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額(純額)					
第3四半期中の変動額合計(百万円)		0	30	392	361
平成19年12月31日残高(百万円)	1,980	1,049	1,762	397	4,393

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高(百万円)	1,046	22	88	980	5,736
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当					277
四半期純利益					307
自己株式の取得					392
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額(純額)	344	0	2	347	347
第3四半期中の変動額合計(百万円)	344	0	2	347	709
平成19年12月31日残高(百万円)	701	22	91	633	5,027

(参考)前期(平成19年3月期)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	1,980	1,049	1,565	4	4,590
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			197		197
当期純利益			363		363
自己株式の取得				0	0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計(百万円)		0	165	0	165
平成19年3月31日残高(百万円)	1,980	1,049	1,731	5	4,755

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(百万円)	1,484		123	1,360	5,951
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					197
当期純利益					363
自己株式の取得					0
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	437	22	34	379	379
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	437	22	34	379	214
平成19年3月31日残高(百万円)	1,046	22	88	980	5,736

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	前年同四半期 〔平成19年3月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第3四半期〕	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	432	545	636
2 減価償却費	372	443	505
3 負ののれん償却額	1	1	2
4 投資有価証券売却損益・評価損益	0		0
5 貸倒引当金の減少額	22	2	31
6 退職給付引当金の減少額	150	87	195
7 受取利息及び受取配当金	55	59	60
8 支払利息	169	194	225
9 売上債権の増加額	667	355	612
10 たな卸資産の増加額	222	165	574
11 仕入債務の増加額又は減少額( )	1,366	186	865
12 その他	111	79	221
小 計	1,332	405	978
13 利息及び配当金の受取額	54	59	60
14 利息の支払額	180	204	235
15 法人税等の支払額	181	162	198
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,025	97	604
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 有価証券の売却による収入	20		20
2 有形固定資産の取得による支出	234	375	372
3 有形固定資産の売却による収入	59		60
4 投資有価証券の取得による支出	52	17	52
5 投資有価証券の売却による収入	0	0	0
6 貸付けによる支出	5		5
7 貸付金の回収による収入	51	13	52
8 賃貸預り保証金の収入		60	140
9 その他	41	75	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	119	394	176
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 短期借入れによる収入	25,180	33,756	38,690
2 短期借入金の返済による支出	26,656	33,873	39,174
3 長期借入れによる収入	2,900	3,400	2,900
4 長期借入金の返済による支出	1,561	1,719	2,091
5 社債の発行による収入	200		200
6 社債の償還による支出	150	670	280
7 社債の発行による支出	5		5
8 自己株式の取得による支出	0	392	0
9 自己株式の処分による収入	0	0	0
10 ファイナンス・リース債務の返済による支出	134	149	183
11 配当金の支払額	197	277	197
財務活動によるキャッシュ・フロー	424	75	142
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	4	4	15
<b>現金及び現金同等物の増加額又は減少額( )</b>	486	226	300
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,483	1,783	1,483
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	1,969	1,556	1,783

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成19年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	織維 関連 事業	食 品 関連 事業	住・物資 関連 事業	電 子 関連 事業	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,311	15,700	5,682	4,823	38,518	-	38,518
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	16	-	16	(16)	-
計	12,311	15,700	5,699	4,823	38,535	(16)	38,518
営 業 費 用	12,024	14,533	5,678	4,566	36,802	1,107	37,909
営 業 利 益	287	1,167	20	257	1,733	(1,124)	608

(注) 1 当社グループの事業戦略に基づき、取扱商品、事業形態等を考慮して事業区分しております。

2 各事業の主な内容

- (1) 織維関連事業...織維製品、原糸の卸売
- (2) 食品関連事業...冷凍食品、水産物、農産物の輸出入及び国内販売
- (3) 住・物資関連事業...金属製品、機械機器、電気製品、建築資材、生活雑貨の卸売、建築工事の施工、不動産賃貸、損害保険代理店業務、建築金物製造販売
- (4) 電子関連事業...コンデンサ、湿度センサ、環境機器、電気製品、電子部品の製造・組立・販売  
測定機器製造販売

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,271百万円であり、親会社本社の管理部門および全社的な研究開発費に係る費用であります。

4 当第3四半期より当社及び一部の国内連結子会社の輸入仕入に係る諸掛費の計上区分及びたな卸資産への配分方法を変更しております。この変更に伴い、従来の方と比較して、当第3四半期の営業費用が織維関連事業で4百万円、食品関連事業で68百万円、住・物資関連事業で3百万円増加し、営業利益はそれぞれ同額減少いたしました。また、電子関連事業は営業費用が0百万円減少し、営業利益が同額増加いたしました。その結果、連結では営業費用は75百万円増加し、営業利益は同額減少しております。

当四半期(平成20年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	繊維 関連 事業	食品 関連 事業	住・物資 関連 事業	電子 関連 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,563	15,904	6,402	4,629	39,500	-	39,500
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	15	-	15	(15)	-
計	12,563	15,904	6,418	4,629	39,516	(15)	39,500
営業費用	12,196	14,731	6,357	4,470	37,756	962	38,719
営業利益	367	1,173	60	158	1,759	(978)	781

(注) 1 当社グループの事業戦略に基づき、取扱商品、事業形態等を考慮して事業区分しております。

2 各事業の主な内容

- (1) 繊維関連事業...繊維製品、原糸の卸売
- (2) 食品関連事業...冷凍食品、水産物、農産物の輸出入及び国内販売
- (3) 住・物資関連事業...金属製品、機械機器、電気製品、建築資材、生活雑貨の卸売、建築工事の施工、不動産賃貸、損害保険代理店業務、建築金物製造販売
- (4) 電子関連事業...コンデンサ、湿度センサ、環境機器、電気製品、電子部品の製造・組立・販売  
測定機器製造販売

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,248百万円であり、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

4 当第3四半期より、当社及び国内連結子会社は法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更により、従来と同一の方法を採用した場合と比べ、当第3四半期の営業利益が住・物資関連事業で2百万円、電子関連事業で17百万円、消去又は全社で0百万円減少しております。その結果、連結では営業利益が19百万円減少しております。

5 当第3四半期より、当社及び国内連結子会社は平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産について、取得価額の5%に達するまで償却が終了した翌連結会計年度から、残存簿価を5年間で均等償却する方法を採用しております。これにより、従来と同一の方法を採用した場合と比べ、当第3四半期の営業利益が繊維関連事業、食品関連事業及び電子関連事業でそれぞれ0百万円、住・物資関連事業で1百万円、消去又は全社で3百万円減少しております。その結果、連結では営業利益が5百万円減少しております。

(参考) 前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	繊維 関連 事業	食品 関連 事業	住・物資 関連 事業	電子 関連 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,347	20,502	7,919	6,583	51,352	-	51,352
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	22	-	22	(22)	-
計	16,347	20,502	7,941	6,583	51,374	(22)	51,352
営業費用	15,980	19,048	7,822	6,209	49,060	1,431	50,491
営業利益	367	1,453	119	373	2,314	(1,453)	861

(注) 1 当社グループの事業戦略に基づき、取扱商品、事業形態等を考慮して事業区分しております。

2 各事業の主な内容

- (1) 繊維関連事業...繊維製品、原糸の卸売
- (2) 食品関連事業...冷凍食品、水産物、農産物の輸出入及び国内販売
- (3) 住・物資関連事業...金属製品、機械機器、電気製品、建築資材、生活雑貨の卸売、建築工事の施工、不動産賃貸、損害保険代理店業務、建築金物製造販売
- (4) 電子関連事業...コンデンサ、湿度センサ、環境機器、電気製品、電子部品の製造・組立・販売  
測定機器製造販売

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,649百万円であり、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

4 当連結会計年度より当社及び一部の国内連結子会社の輸入仕入に係る諸掛費の計上区分及びたな卸資産への配分方法を変更しております。この変更に伴ない、従来の方法と比較して、当連結会計年度の営業費用が繊維関連事業で4百万円、食品関連事業で49百万円、住・物資関連事業で5百万円増加し、営業利益はそれぞれ同額減少いたしました。また、電子関連事業は営業費用が0百万円減少し、営業利益が同額増加いたしました。その結果、連結では営業費用は59百万円増加し、営業利益は同額減少しております。